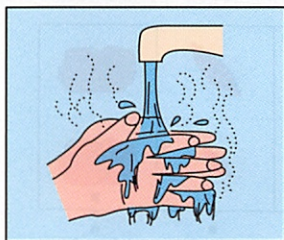


採血のポイント

- ① 採血前には手をよく温めてください。
- ② 採血器具は指に強く押し当ててください。
- ③ 指の上にじゅうぶんな血液がにたまってから、ろ紙につけてください。
- ④ 血液はろ紙の裏までしみ込むようにつけてください。（4つの④すべてにつけてください）

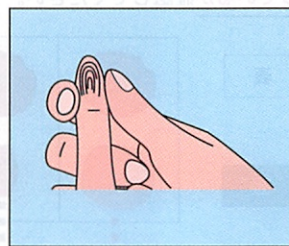
手を洗って準備をしてください

1



採血する前には流水（温水）でよく手を洗ってください。

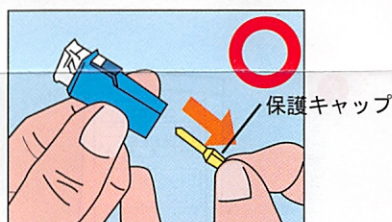
2



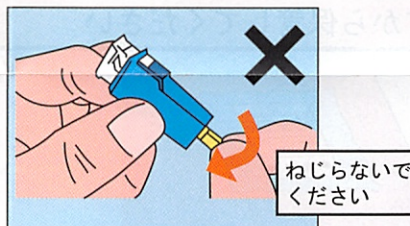
採血する指先をよくマッサージしてください。

採血器具の準備をしてください

1



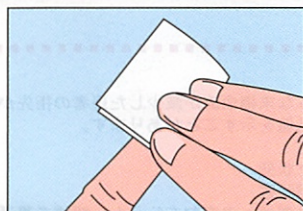
保護キャップを引っ張って、取り外してください。



ねじらないでください

採血してください

1



採血する部分を消毒し、乾燥させてください。

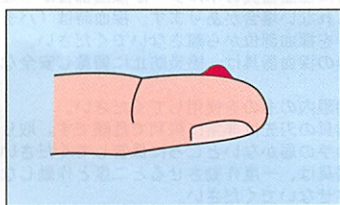
2



机などの台の上に指を置きます。指のやわらかい部分に採血器具の先端を押しあて、穿刺ボタンを押してください。

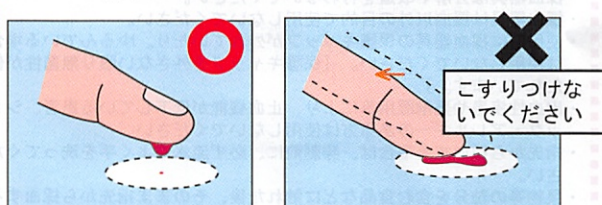
「パチン」と音がするまで採血器具を指から離さないでください

3



血液がたまったら（1つの④に対し小豆くらい大きさ）、ろ紙にしみ込ませてください。

4

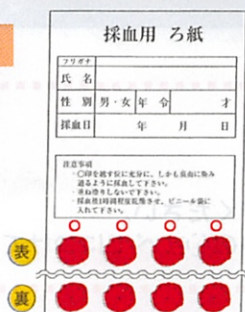


ろ紙に指を押しつけず、血液だけをろ紙の④の中につけるようにしてください。その際こすりつけないでください。

こすりつけないでください

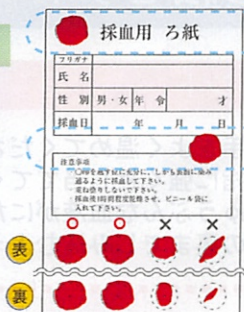
採血量を確認してください

成功した例



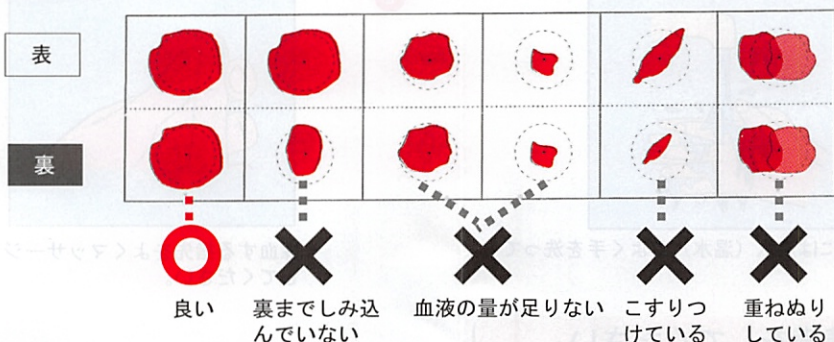
4つの穴すべてに血液を染み込ませ、裏までしみとおっているか確認してください。

失敗した場合

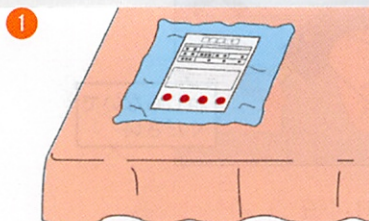


失敗した場合は、空いているスペースに血液をつけてください。

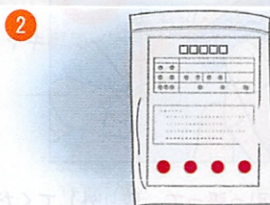
[採血例]



乾燥してから保管してください



ろ紙は水平な場所に置いて、完全に自然乾燥させてください。(1～2時間程度)



ろ紙は同封されていたチャックつき袋に入れ、提出するまで温度の低いところ(冷蔵庫等)に保管してください。

注意事項

- ・使用後の採血器具には血液が付着している可能性があります。使用後は速やかに廃棄してください。[感染の危険性があります。]
- ・感染の危険性があるため、採血部位の消毒を必ず行ってください。また採血後はばんそうこう等で止血と保護を行ってください。傷口が治りにくいときには、医師の指導を受けてください。
- ・採血器具の保護キャップを取り外した状態で放置しないでください。[刃が鋭くなって発射される危険性があります。]
- ・採血器具は再使用禁止です。使用後は必ず廃棄してください。
- ・指先以外での採血はしないでください。
- ・採血器具は分解や改造を行わないでください。
- ・採血器具は採血以外の目的で使用しないでください。
- ・使用時に採血器具の保護キャップが外れていたり、ゆるんでいる場合は使用しないでください。[保護キャップを外さない限り無菌性が保たれています。]
- ・出血性疾患や薬剤服用等により、止血機能が低下している患者、ショック・アレルギーのある方は使用しないでください。
- ・指先から採血する場合は、穿刺前に、必ず流水でよく手を洗ってください。
- ・果物等の糖分を含む食品などに触れた後、そのまま指先から採血すると指先に付着した糖分が血液と混じり、血糖値が偽高値となるおそれがあります。[アルコール綿による消毒のみでは糖分の除去が不十分との報告があります。]
- ・以下のような末梢血流が減少した患者の指先から採血した場合は、血糖値が偽低値を示すことがあります。
 - ・脱水状態
 - ・ショック状態
 - ・末梢循環障害
- ・組織が薄い部位への穿刺を行うと、組織を貫通した針で指を穿刺し、血液を介した感染のおそれがあるため、添付文書上にある穿刺部位を守ってください。
- ・採血器具の保護キャップを取り外したらすぐに使用してください。
- ・採血時に採血器具ホルダーが採血部位から離れると、必要な採血量が得られない場合があります。採血時は「パチン」と音がするまでホルダーを採血部位から離さないでください。
- ・使用後の採血器具は、感染防止に留意し安全な方法で廃棄してください。
- ・使用期限内のものを使用してください。
- ・採血器具の刃先は非常に鋭利で危険です。取り扱いには十分注意し、小児の手の届かないところに保管してください。
- ・採血器具は、一度作動させると二度と作動しないので、採血時以外は作動させないでください。